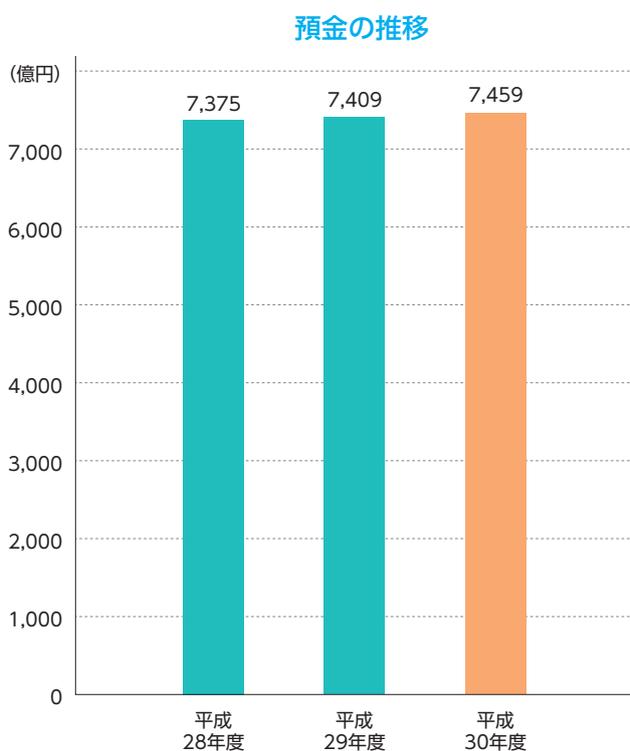
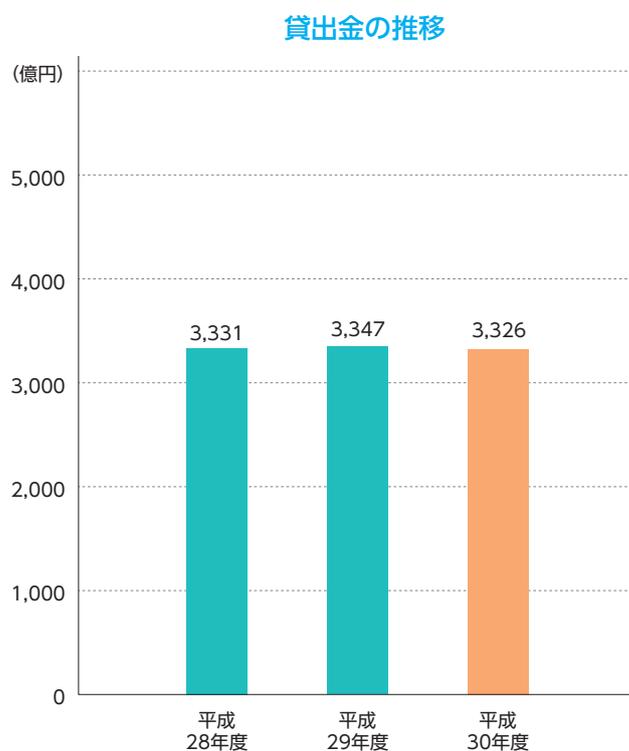


## 預金・貸出金の推移

業務ハイライト



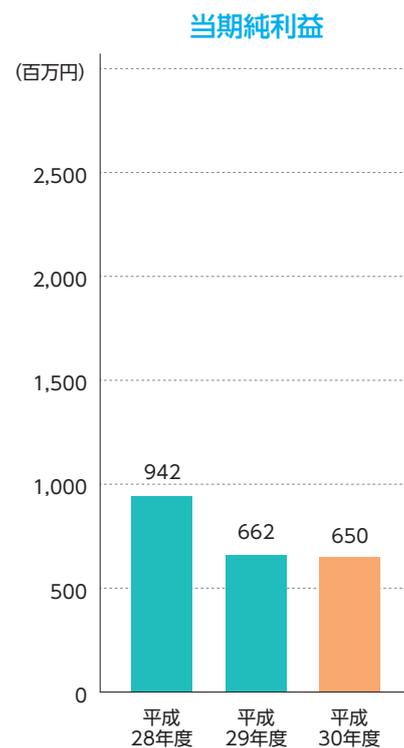
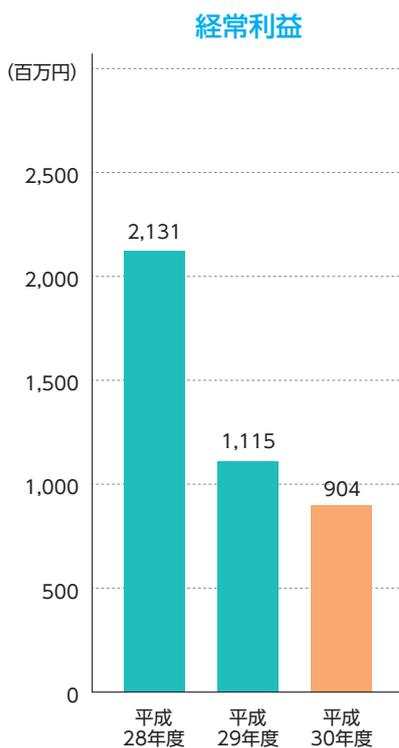
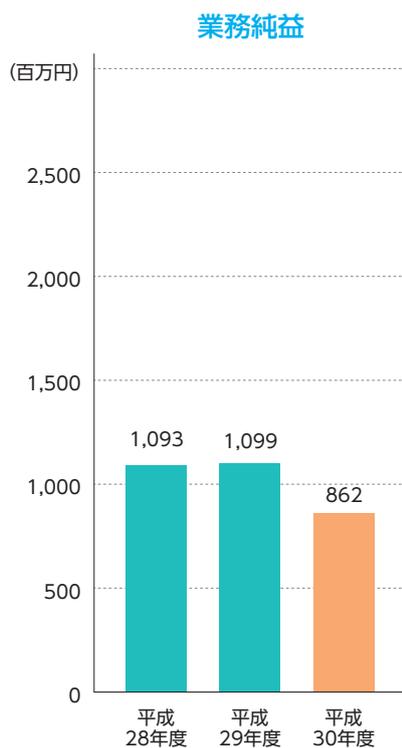
平成30年度の期末預金残高は7,459億円となり、前期比49億円の増加となりました。



平成30年度の期末貸出金残高は3,326億円となり、前期比21億円の減少となりました。

## 損益の状況

平成30年度は、当期純利益650百万円、信用金庫本来の業務により得た利益である業務純益を862百万円計上しました。

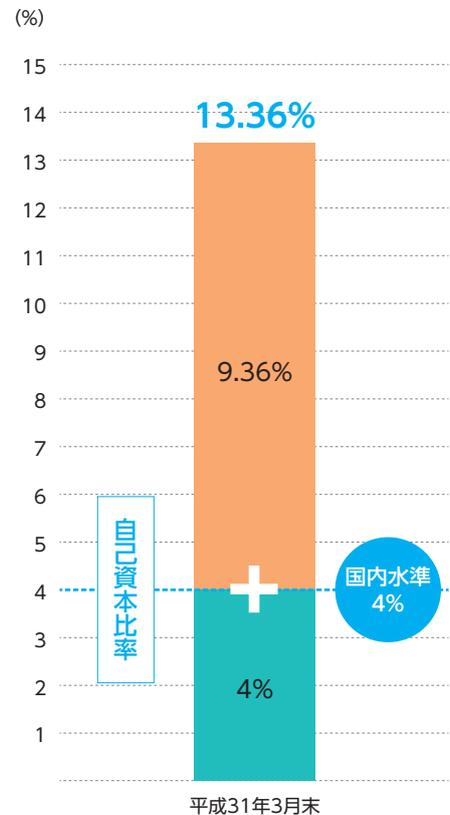


(注)記載金額はそれぞれ単位未満を切捨てて表示しております。

## 自己資本比率

平成31年3月末の自己資本比率は、国内基準4%を上回る13.36%となりました。

自己資本比率とは、金融機関の経営の健全性を示す重要な指標の一つで、リスクを考慮した資産に対して「自己資本がどのくらいの割合か」を数字に表したもので、この比率が高いほど、安全性が高いこととなります。



## 金融再生法開示債権の状況

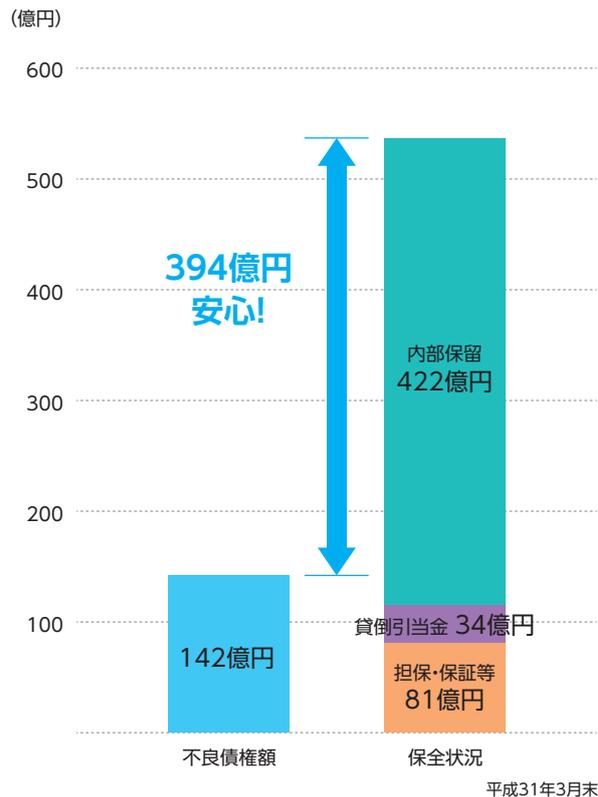
健全経営を重視し、資産純化のため不良債権処理を積極的に進めました。

金融再生法上の不良債権は合計142億円となりましたが、これに対する保全額は、115億円で「保全率」は81.00%と高水準です。

### 不良債権及び保全状況

金融再生法上の不良債権額 (億円)	
破産更生債権等	142
危険債権	
要管理債権	
<b>保全額</b>	<b>115</b>
貸倒引当金	34
担保・保証等	81

貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金です。

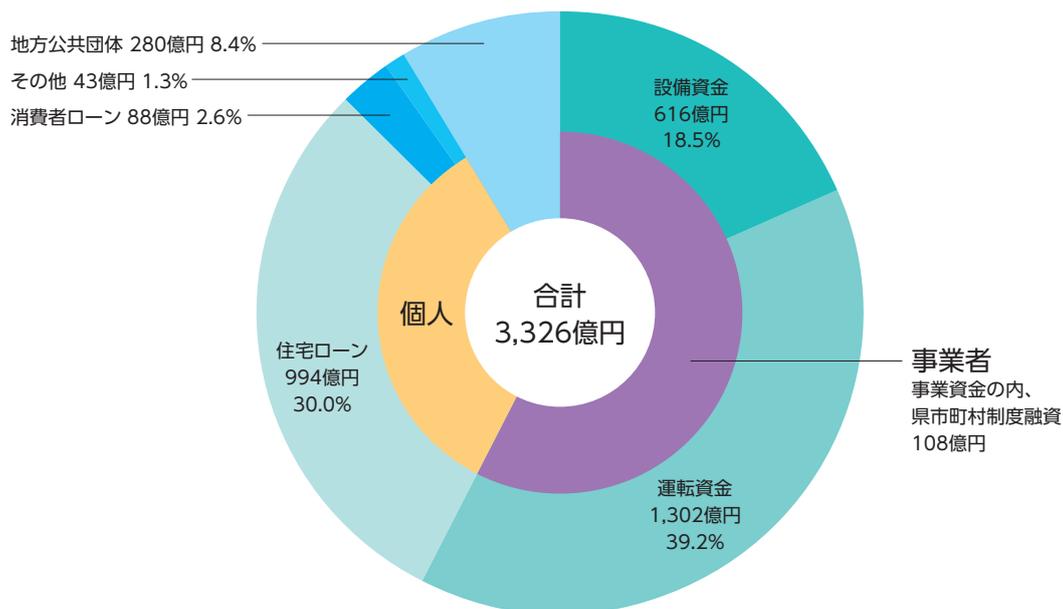


(注)記載金額はそれぞれ単位未満を切捨てて表示しております。

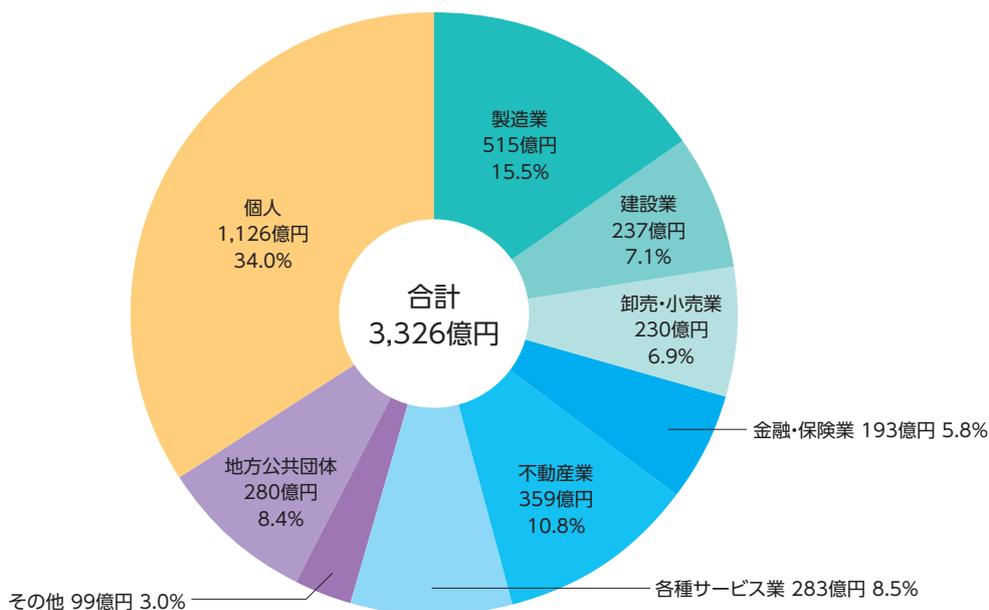
## 地域への資金供給の状況

お客様からお預けいただいたご預金は、お客様の幅広いニーズにお応えする商品をそろえ、地元の中小企業・個人事業主ならびに個人の皆様方にご提供しています。

貸出金使途別残高



貸出金業種別残高



平成31年3月末

(注)記載金額はそれぞれ単位未満を切捨てて表示しております。